

しんくみ 森組 まつもと広域

10周年記念号
第19号

発行
平成29年12月7日
松本広域森林組合
〒399-8102
長野県安曇野市
三郷温 4000 番地
0263-77-2413
<http://www.matsumoto-forest.jp>



県産材を使った
丸太・杭
各種サイズ販売中!



筑北加工場
0263-64-3300まで

JForest

職員、組合員の皆様の弛まぬご尽力と熱意の賜物と心から感謝と敬意を表する次第です。

10年の節目にあたり

組合長 中村善行

松本広域森林組合は、平成10年7月に「松本地区森林組合合併研究会」を発足し、合併に向けての研究会から協議会と検討を重ね、平成18年4月、筑北森林組合、筑南森林組合、あづみ森林組合、松本森林組合、穂高町森林組合の5組合による合併予備契約がなされ、平成19年2月、森林組合の経営を強化し、地域林業の中核的担い手として発足いたしました。

合併から本年度10年を迎えましたが、この間、国においては政権交代による「森林林業再生計画」の策定、長野県に「森林税」制度の導入、「信州Fパワープロジェクト」による大型製材工場の設置など大きな変革がありました。また、地域においては、松くい虫によるアカマツの枯損被害の拡大による被害対応など、合併時から組合運営にも影響を与えた大きな変化が幾度かございました。

このような情勢の中、組合では「人（組合員）との絆、森との絆を忘れてはならない」の言葉を経営理念の冒頭に掲げ、組合員の山づくりを事業の骨格とし、今日まで運営を進めて参りました。

以下本広報誌に「歩みと変革」を記載いたしました。目を迎えられましたのは、組合員のご協力はもとより、

国県の行政機関、市村の地元行政によるご支援とご協力のおかげと、ここに深く感謝申し上げます。



木材価格の低迷等林業を取り巻く情勢は厳しいものがありますが、引き続き「組合員」の皆様のための山づくりを、さらに、地域行政には貴重な地域資源としての「森林」の活用をご提案し地域林業の担い手として業務を遂行する所存でありますので、引き続き組合員の皆様、関係各位の皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

10周年に寄せて

長野県森林組合連合会

会長 藤原忠彦

松本広域森林組合が平成19年に発足されて以来、これまで着実な歩みを続けられ、10周年という記念すべき節目を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

貴森林組合におかれましては、この10年という年月の変化に適切に対応され、管内の森林整備をはじめ、木材生産、加工等を通じての森林・林業の振興はもとより、地域の中核的産業の進展の一翼を担ってこられました。

これも偏に歴代役員の方々をはじめ、



森組 10th ミニギャラリー



は増えて参りますが、これまで築いてこられた歴史を礎に、地域の森林管理の主役としてさらなる森林整備の推進にご貢献いただけるものと期待しております。

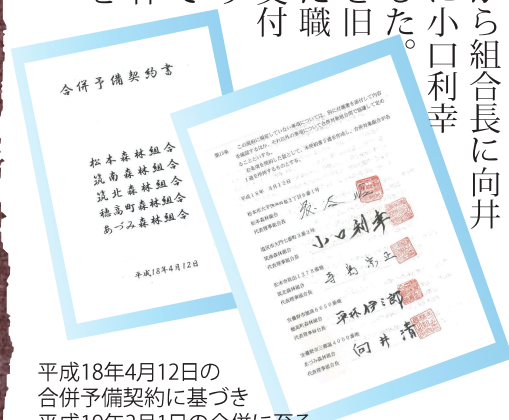
結びに、貴森林組合並びに組合員の皆様の今後のますますのご活躍とご発展を祈念申し上げます。

始 日

平成19年2月1日（木）松本広域森林組合は合併の朝を迎えました。当日は前日の晴天による暖かい日から一転、曇り空の少々寒い朝ではありましたが、新たな事が始まるには良い身の引き締まる寒さを感じたことを思い出します。

この日、9時半から始まった第1回の理事会で役員23名の中から組合長に向井清氏、副組合長に小口利幸氏が互選されました。

その後引き続き旧組合より集まった職員22名に辞令が交付され平成10年より準備を進められて来た松本広域森林組合がスタートを切りました。



平成18年4月12日の合併予備契約に基づき平成19年2月1日の合併に至る。

合併時理事：H19.2月～H20.4月

組合長 向井 清 / 副組合長 小口 利幸
 理事 菅谷 昭 / 平林伊三郎 / 寺島 宗正
 上條 照夫 / 新井 邦夫 / 尾崎 稔
 大沢 優 / 笠原 和晃 / 小松 浩
 田多井為三 / 波多腰 高 / 平田 育弘
 望月 幸男 / 両角 昌美 / 山田 一榮
 吉田 満男 / 依田 政人 / 増田 富重
 代表監事 井口 光之
 監事 藤原 強 / 青柳 圭二

初代組合長山 思 語
 平成21年当時の増田参事（現専務理事）と武井事業課長（現参事）と共にキャタピラージャパン様の取材を受け「20年後の人々のために、林業の担い手がやるべきこと」と題して、初代向井組合長はこんなことを語っています。

「この場所は、20年後に素晴らしい豊かな山林になり、商品価値の高い木材が生産されるようになります。機械化などの手段によつて日々の生産性をシビアに考えていくことも地域林業の活性化の面でとても大切なことです。しかし、もつと先を見据えて後の世代に喜んでもらえる木を育てていく気構えを忘れてはいけません。林業とはそういう仕事なのです。」取材は冬、前夜の積雪により雪景色になった山林を見渡しながら語った言葉だったそうです。今は亡き向井組合長の山へ対する熱い思いを過去の取材を通して感じます。



20改選（第2期）：H20.4月～H23.4月

組合長 向井 清 / 副組合長 小口 利幸
 理事 赤羽 一悦 / 新井 邦夫 / 飯森 文治
 尾崎 稔 / 笠原 和晃 / 清澤 實視
 斉藤 寿秋 / 菅谷 昭 / 関森 省吾
 中村 武雄 / 永田 公由 / 波多腰 高
 平林伊三郎 / 藤澤 泰彦 / 増田 富重
 望月 幸男 / 両角 昌美 / 吉田 満男
 代表監事 井口 光之
 監事 藤原 強 / 濱 昭次



林業 機械化 伴 人材育成 安全指導
 時代の流れに乗って林業の機械化が進む中、組合でも合併以来、高性能林業機械の導入が進んでいます。現在ではほぼ毎日フル活動のフォワーダやグラップル付バックホウ、ハーベスタ、プロセッサなどの重機が次々と導入されました。

機械化に伴いそれを扱える人材の育成にも力を入れ始めます。緑の雇用事業による技能職員の補充もはじまり、緑の雇用指導員による現地での安全パトロール、また、年2回の安全衛生大会では全職員が集まり安全衛生に係る様々な分野の方を講師に迎えて、安全を学ぶことにも積極的に取り組み始めたのもこの頃です。



23改選（第3期）：H23.4月～H26.4月

組合長 向井 清 / 副組合長 中村 善行
 専務理事 増田 富重
 理事 飯森 文治 / 小口 利幸 / 尾崎 稔
 清澤 實視 / 佐藤 紀夫 / 菅谷 武雄
 関森 省吾 / 瀧澤 健夫 / 中村 泰彦
 永田 公由 / 波多腰 康 / 藤澤 昌美
 増田 富重 / 宮澤 宗弘 / 両角 昌美
 矢島平八郎 / 山口 裕 / 吉田 満男
 代表監事 井口 光之
 監事 藤原 強 / 濱 昭次



第4期、合併以来組合長を務めた向井清氏が平成25年10月任期中にお亡くなりになられ、組合長不在の時期もありましたが、平成26年4月向井組合長の意思を継ぎ、副組合長を務めていた中村善行氏が2代目組合長として、役職員の気持ちをつなぐ新たな出発を迎えました。

新年 言葉



平成26年職員が一堂に集まる新年の会にて中村組合長は「自分は山に育つて、山と共に生きてきた。山作業は座敷を掃除するよりも気持ちのいいものである。：中略：『元気なのである。』をモットーにみなさん頑張ります！」この年はこの中村組合長らしい活力ある元気な一言からスタートしたことを思い出します。

平成29年新年の会にて抱負を述べる職員



地域 発信 『森林 林業』

平成25年度より、もくりゆう館を会場に、隣の中信木材センターと合同で、森林・林業により親しみを持ってもらおうと始めたイベント『森の恵みふれあい祭り』。年に1回の開催ですが、地域の方々のご協力もあり、今年で5回目を開くことが出来ました。

すっかり定番になった木材市場見学ツアー、小さい子供も木と触れ合える積み木コーナー・各種木工等へたくさんの方にご来場を賜り、今年も盛大に終えることができました。今年度は組合10周年でしたので、開会式の際には記念セレモニーを行い、若手職員により記念クッキーが配られました。

配布の記念クッキー



今年度は組合10周年でしたので、開会式の際には記念セレモニーを行い、若手職員により記念クッキーが配られました。



理事 10年…

合併10周年 迎

副組合長 吉田満男



振り返ると市町村合併が一段落した平成19年2月1日、松本市・塩尻市・安曇野市・東筑摩郡の5森林組合が合併する事となり、現在の松本浅間温泉文化センターを会場に、それぞれの組合関係者及び県知事を迎え盛大に合併式典が挙行された。組合名称は公募に依り松本広域森林組合とする事となり、本事務所の位置は安曇野市に置く事と決定した。当時の事務所が手狭である事から新事務所である「もくりゆう館」の建設がなされ現在に至っている。当時益々衰退する一方の森林業であったが、平成20年に「森林づくり県民税」の導入がなされ、森林整備が加速するようになった。また、現在、国による「森林環境税」の導入もなされようとしている。生命体の原点である水と空気及び、海の幸をも育む森林の後日は今後ますます重要さを増し、地球温暖化防止に向けても大切な業務となっていく事としたいと思います。

当組合の益々の発展あれ！

10年 節目 専務理事 増田富重
 松本広域森林組合が発足以来、職員理事として4年、専務理事としては6年が過ぎようとしています。旧組合より持ち込んだ資産、技術、人材等をベースに新しい組合の運営が軌道に乗るまでには多少の時間がかかりましたが、本年が10年の節目となりました。森林組合を取り巻く経済的な環境は厳しいものでしたが、森林整備事業を核として事業拡大し、かつ事業コストの抑制を図りながら全役職員で推進してまいりました。また次の節目に向けて森林組合活動の一步を踏み出したところです。



平成19年 平成20年 平成21年 平成22年 平成23年 平成24年 平成25年 平成26年 平成27年 平成28年 平成29年

新組合合併（2月1日）



合併後初の高性能林業機械導入
（スイングヤーダ）

新本所施設建設着工
麻績事業所が筑北支所へ統合
穂高事業所があづみ支所へ統合



もくりゅう館竣工式
（3月19日）

第62回長野県植樹祭
（6月11日塩尻市高ボッチ高原にて）
（長野県警本部長より授与）
交通安全推進表彰
集約木販課新設



初代組合長 向井清氏死去
筑南支所移転
第1回森の恵みふれあい祭り開催
（9月7日）

ステーション塩尻開設
信州WOOD
筑北加工場舗装整備



1名資格取得
森林施業プランナー

全国植樹祭開催
（6月5日松本市アルプス公園にて）
雨水被害発生（1月29日）



『育成班』誕生
『特殊伐採班』
新たな班設置

…組合の出来事… グラフで見る組合の推移



平成22年8月に完成したもくりゅう館



現在の組織体制
平成29年11月30日現在
役員 理事 20名（3委員会）
監事 3名
職員 事務 29名（3課4支所）
現場 55名（13班・加工場・林道）

事業総取扱高の推移
（単位：千円）

緑字 事業取扱高
（単位：千円）

■ うち受託造林
（単位：千円）

■ うち受託林産
（単位：千円）

2007 郵政民営化スタート（10月）
新潟中越地震（7月）
第1回東京マラソン開催（2月）

2008 ノーベル賞日本人4人受賞（10月）
北京オリンピック開催（8月）
長野県森林づくり県民税導入（4月）

2009 裁判員制度初の裁判（8月）
日本で46年ぶりの皆既日食（7月）
浅間山が小規模噴火（2月）

2010 阿部長野県政スタート（8月）
波田町が松本市へ合併（3月）
バンクーバーオリンピック開催（2月）

2011 なでしこジャパンWカップ優勝（8月）
長野県北部地震（3月）
東日本大震災（3月）

2012 山岳遭難発生件数過去最多
ロンドンオリンピック開幕（8月）
東京スカイツリー開業（5月）

2013 国際共同組合年
長野県全国寿命男女共に日本一
富士山世界遺産に登録（6月）

2014 御嶽山水蒸気爆発（9月）
阿部長野県政第2期スタート（8月）
信州山の日制定（5月）
ソチオリンピック開催（2月）

2015 マイナंबर開始（10月）
ラグビー日本代表歴史的勝利（9月）
39年ぶり長野県出身幕内力士誕生（3月）

2016 リオデジャネイロオリンピック開催（8月）
第1回「山の日」記念全国大会（8月）
18歳以上初の国政選挙（7月）
熊本地震（4月）

2017 『天皇退位に関する特例法』成立（6月）
アメリカTPP離脱（1月）
19年ぶり日本人横綱誕生（1月）

…社会の出来事…

松くい被害が発生した松林(安曇野市穂高)



今回は猛威を振るう松くい虫の被害拡大防止と松林健全化を図るための『樹種転換』についてお話しします。

里山に広がるアカマツ林の中に、ビニールのシートで覆われた松くい虫被害木が点々としていたり、幹の太い立派な松が茶色く枯れている光景を目にすると、悲しくなってしまう。何十年も生きてきた木を利用せずに伐倒してしまふのは忍びないものです。

そこで、里の方から段々と拡大していく松くい被害を防止するために、健全な松林の周辺の被害地を皆伐して感染源をなくしていく作業を進めています。1本1本伐って駆除するのではなく、面的な防波堤を作るイメージです。

事業課より	
『	樹種転換』
の	す
す	め



【樹種転換の概要】

森林所有者様の同意を得られた松くい虫の感染が広がっている松林(被害拡大防止森林)から、健全な松林(守るべき松林)へ感染防止のため松くい虫の媒介役のマツノマダラカミキリが羽化し脱出する前(10月から翌年6月頃まで)の適期に実施をします。

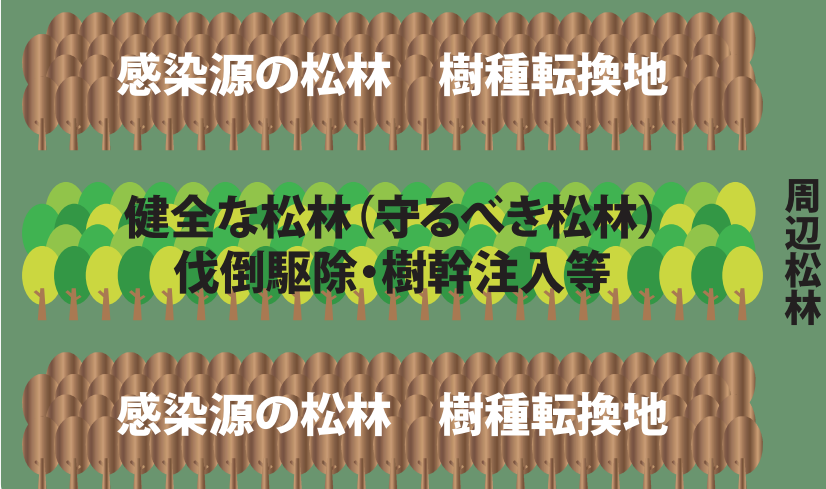


アカマツの枯損木・生立木を全部伐って、利用できる部分は搬出します。

林地に残った残材は地拵えをし、自然に芽を出した幼木を育てる方法とアカマツ以外の他の苗木を植栽する方法があります。どちらも下刈り等保育を行い、次の山づくりをします。



市町村松くい虫被害対策地区実施計画に基づく地域

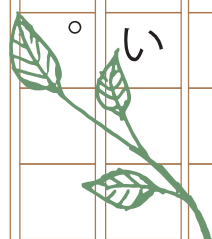


山境は親から子への大切な財産の受渡です。

計画を立てる

樹種転換地は経営計画が不要ですが、保育作業を継続的に補助対象とするためには、計画の樹立が必要になるため、組合員の皆様のご協力をお願いいたします。

補助制度を	利用して美しい	里山をつくる。



松本地域振興局より

ある松本広域森林組合と組合員の皆様の益々のご発展を祈念し、森林・林業が地域を支える産業として力強いものになるよう進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

まずは、合併10周年おめでとうございます。本年4月から松本地域振興局林務課長を務めています春日嘉広です。松本は約30年前に県職員の駆け出しの頃、治山事業の担当として働いた思い出の場所です。再び勤務できることに喜びを感じています。どうぞよろしくお願い致します。

思い起こすと松本地域の森林も30年前とは様変わりしています。当時は20年から30年生の若い森林が多く間伐推進が始まった時代でした。主要樹種のカラマツも小径木は杭等への需要がありましたが、少し太くなると需要がなく市場で山積みになっていました。「県でカラマツ造林を推奨したせいだ。」などよく言われたものです。現在は50年生以上の森林が主体となり、カラマツについても強度の高さが評価され、合板や集成材などに大量に使用されています。

一方、新たな課題も出てきています。特に急拡大している松くい虫被害は松本地域の大きな課題です。地域振興局としても被害地の拡大防止、道路等のライフラインの保全、アカマツから他樹種への樹種転換、枯損木のバイオマスエネルギー利用など関係の皆様と連携して取り組んでまいります。

最後に、合併から10年、地域林業の中核で



林務課長 春日嘉広

合併後導入された組合所有 高性能林業機械 ラインナップ



H20.スイングヤーダ



H20.グラッフル付きバックホウ



H20.プロセッサ



H22.フォワーダ MST-650VDL



H22.グラッフル付バックホウ PC55MR3N1



H24.フォワーダ MST-650VDL III G



H25.グラッフル付バックホウ PC78US8NM



H25.ハーベスタプロセッサ PC78US-8NM



H26.スイングヤーダ PC78US8S



H26.フォワーダ MST-650VDL



H26.フォワーダ MST-650VDL



H27.グラッフル付バックホウ PC78US-10

合併後導入された組合所有 大型トラック



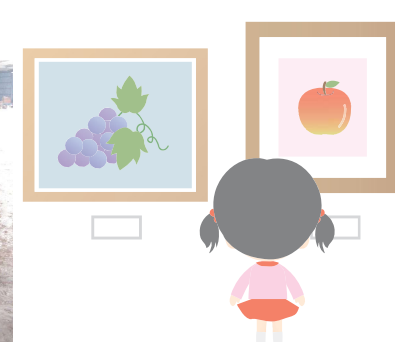
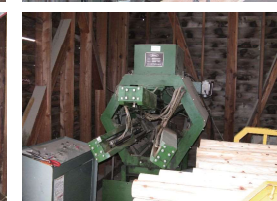
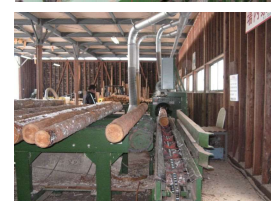
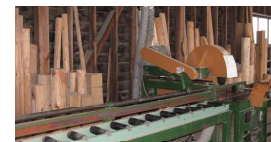
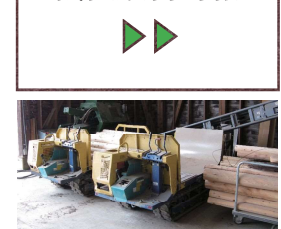
H20.クレーン付6tトラック 三菱ふそうFIGHTER

森組10th【重機】ギャラリー

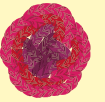
合併以来、時代の流れと共に高性能林業機械と呼ばれる重機の導入を進めて参りました。この10年の間にH20年度より導入された重機及びトラックは上記にずらりと並ぶ13台。日々山の現場で活躍しています。

また、組合の仕事を支える機械として、旧筑北森林組合の時から活躍している機械もあります。筑北小径木加工場で活躍する円柱加工機や杭先加工機などです。松本地域のカラマツ材をメインに、県産材利用の目的で日々稼働しています。組合の仕事は新旧様々な機械に助けられながら進んでいます。

組合所有 機械類番外編



組合からのお知らせ



☆総務課より☆

◎年末年始の休業について

本年の営業は本所・各支所共に12月28日(木)までとなります。新年は1月4日(木)より営業いたします。

◎名義変更について

お届けいたしました広報の帯封のお名前は、現在登録されている組合員名となっております。お名前等、組合員情報の変更は申告制となっておりますので、変更のある方は総務課までご連絡ください。

総務課 ☎ 0263 (77) 2413

◎今後の会議等の予定

- ・地区懇談会 2月中旬以降
- ・総代会 4月中旬

日程の詳細につきましては、決定次第で通知申し上げますので、よろしくお願いいたします。

☆購買係より☆

平成30年度種駒・苗木注文書を同封いたしました。本年は生産者の肥料・農薬など資材費の上昇を受けて山行苗の価格に値上がりがあります。時代背景によるものごご理解いただけると幸いです。

また、昨年同様原木の生産者不足により、仕入れ数が少ないことが見込まれます。多数ご注文ご希望の方は、お早めにご注文いただきますようお願いいたします。

今年も種駒・苗木のご注文をよろしくお願いたします。

購買係 ☎ 0263 (64) 3300

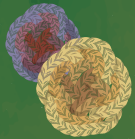
職員人事

(7月1日付け)

異動

筑北支所 (前松本支所)
支所長代理 山岡 正人

松本支所 (前筑北支所)
技師 小笠原順次



第1000回 開設記念市 市況表

(平成29年11月20日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター

Tel 0263-77-2347 Fax 77-2349

○ 強気配 △ 保合 △ 弱気配

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	安値(円/㎡)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16~18	2,500	11,000	9,000	-	3.0m×14~18cm往取り引合いがあります。20cm上は4.0m造材してください。
	4.0	直	30~48	2,500	16,000	10,000	-	
	4.0~7.0	元	54~98	7,000	87,000	-	-	
ひのき	3.0	直	20上	7,000	16,000	13,000	-	材不足していますが並材値度換算。
	4.0	直	20~28	7,000	25,000	14,000	-	
	4.0~6.0	元	30~62	-	772,000	-	-	
からまつ	4.0	込	6~13	2,500	12,000	8,000	-	材不足しています。指物5cm~13cm引合い強し。ご出品お願いいたします。
		直	14~18	2,500	14,000	10,000	-	
		直	20上	2,500	21,000	12,000	-	
		曲	14~18	2,500	6,000	5,000	-	
		曲	20~40	2,500	12,000	7,000	-	
あかまつ	4.0	込	18~24	2,500	8,000	6,000	-	伐期になりましたので伐採予定がある場合はお問い合わせください。又、高直径90cm以上の大径材探しております。
		込	26上	2,500	25,000	8,000	-	
	6.0~9.0	直	20~46	2,500	51,000	13,000	-	
オシロイ	5.0	直	42~48	-	36,000	30,000	-	良材に高値、応札活発。
ツクリ	2.0~5.0	込	16~50	2,500	95,000	20,000	-	
アカマツ	2.0~4.4	込	22~52	6,000	51,000	20,000	○	
スギ	5.0	込	82	-	180,000	-	○	
ヒノキ	3.8	込	54	-	210,000	-	○	

出品量 5,065 ㎡ 販売量 4,997 ㎡ 落札率 99 % 買い方 61 社

記念市の開催にあたり、国有林をはじめ、皆様より多量の出品をいただき心より御礼申し上げます。今回金銭的に高値が多く、特にヒノキ、アカマツ、広葉樹の良材に何度も10万円以上の札が競み上げられ、記念市に相応しい活気あるにぎやかな市売となりました。今後も期待できますので引き続き出品の程よろしくお願い致します。尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

次回納市 12月13日(水)

協同組合がよりよい社会を築きます

合併10周年おめでとうございます。当センターの市も今回合わせるように第1000回という節目の市を迎えました。日頃より地域材の出荷で市を盛り上げて頂いた皆様には、この場を借りて感謝御礼申し上げます。

また共に良い節目を迎えることが出来るよう気持ちを新たに精進して参りたいと思います。

松本広域森林組合のみなさまの益々のご発展を祈念いたします。

中信木材センター職員一同

時の経つのは早いもので、合併から10年の月日が流れました。今回この10周年記念号を発行するに当たり、写真や、当時の資料などをあちこち探しますが、なかなか見つかりません。整理がつかないことをここで書き記すことは少し恥ずかしい気もしますが、それだけ皆が新しい体制の中で、日々の業務に前だけを向いてひたむきに進んでいたのだと、改めて感じました。

この広報第19号を作成している今も時は流れ、事務所の仲間たちは現場へ、そして注文の電話が鳴る：数少ない掘り出し物の懐かしい写真も、たった10年経っただけの今はまだ、ゆつくり見て懐かしんでいる時間は無いようです。

10年の節目に、組合に係るすべての方々に、感謝御礼申し上げますとともに、職員一同、尚ひたむきに頑張ることを宣言いたします！

編集後記